

年末年始のご挨拶

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。本年も取引先の皆様、従業員の皆様、ご家族、地域の皆様に多大なるご支援を賜りましたこと感謝申し上げます。

さて、創業 61 年目を迎えた本年は、厳しい事業環境下ではございましたが、お陰様で増収増益の決算を達成することができました。これもひとえに取引先、従業員、全てのステークホルダーの皆様の支えがあつての事と深く感謝しております。人口減少が続く稲武地区において、業態改革を経て次の姿への手応えと結果を得られたことは、将来への大きな希望となりました。改めて、ステークホルダーの皆様の真ん中にある会社として、2064 年の創業 100 年に向けた超長期ビジョン「地域と仕事と 100 年企業を目指す！」を掲げ、稲武の地から新たな価値を発信し続けてまいります。

事業においては、量産事業の生産性向上に加え、ベテラン技能工を中心とした試作事業が軌道に乗り、収益の柱へと成長いたしました。また、新たに発足した事業室では、海外からの研修受け入れを積極的に行い、毎月多くの来訪者を稲武へお迎えしております。これら 3 つの事業を軸に、長期ビジョンの実現に向け邁進してまいります。

結びに、明るい話題をご報告いたします。「ルーキー・オブ・ザ・イヤー」豊田市大会において、関東から移住した弊社若手社員が地域課題解決賞を受賞いたしました。仕事と地域活動を両立させ、不安を自信に変えていく姿は多くの評価をいただきました。こうしたロールモデルとなる社員たちが地域と会社を支える原動力となっていくことを、平成の市町村合併から 20 年、OPEN INABU 事業開始から 10 年経った節目となる本年に実感でき大変嬉しく思います。

来年も変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。時節柄、皆様におかれましてはご自愛いただき、良き新年をお迎えになりますようお祈り申し上げます。

令和 7 年 12 月 26 日

トヨタケ工業株式会社

代表取締役社長 横田 幸史朗